



# 野瀬建築



## 過ごしやすくなる！あなたの住まい！

### 家の寿命を伸ばすには！

日本の家はなぜ寿命が短いのかについて考えてみようと思います。日本は欧米に比べ、建て替えまでの年数（寿命）が30年と各段に短く、そのために現存する住宅の平均年齢も低いので、とても資産と呼べるものではありません。

その原因として、一つは建物の構造「耐震性や耐久性」がないなどの物理的な要因と、もう一つは金融機関の融資制度や税制による不動産流通上の価値評価基準が誤っていることが挙げられます。日本の気候や国土の条件が、他国とはまったく異なりとても厳しく、本来それに耐えるだけの強い構造をしていないこと、また、雨や湿気対策を怠っていたという事です。

日本は南北に伸びた島国で「亜寒帯から亜熱帯」の地域に属しています。沿岸には暖流と寒流が流れ、大陸の影響で梅雨と秋雨という特殊な気候を持っていて、雨は欧米の3倍も降り、日本で発生する地震が放出するエネルギーはなんと世界の10%を占めるのです。

更に、国土の50%が積雪地域で、積雪50cm以上のところで2000万人が暮らしています。結局のところ、日本の気候風土は外国のどの国にも例がなく、厳しい気象条件に耐えうる堅固な住まいが必要だとよくわかります。

野瀬建築では『住まいに関わる』ご相談を承っております。お気軽にお尋ね下さい。

◆(有)野瀬建築Ⅱ 電話0120(34)1829、津市高茶屋七丁目6番36号(井村屋通りローソン交差点を西へ)。